



飛驒匠のDNAを受け継ぐものづくりのまち メイド・バイ飛驒高山認証

市では、飛驒高山ブランドコンセプトに合う独自性と信頼性の高い地場産品を「メイド・バイ飛驒高山認証産品」として認証しています。ものづくりの匠たちの熱い想いに触れてください。

No.18

飛驒メロン 飛驒メロン研究会

「夏はスイカもいいんやけど、冷やしたメロンでちょっと贅沢したいんやさな〜」そんな皆さんにおススメ！弾ける瑞々しさと爽やかな甘さが魅力の「飛驒メロン」について、飛驒メロン研究会会長の塚腰雄一郎さんにお話を伺いました。

一飛驒メロンの歴史は？

昭和53年に、初代会長の故林正彦さんがメロン作りを始めたの

がきっかけ。寒い高山ではなかなか上手いかず、研究を重ねて栽培方法に工夫をして生産できるようになりました。

一メロン作りは難しいと聞いたことがあります。

とても繊細で手のかかる野菜なので、24時間の管理が必要です。私たちは土耕地栽培なので、水の管理が特に気を遣うところです。



一他のメロンとの違いはありますか？

飛驒特有の寒暖差のおかげで糖度は平均15~16度あり、後を引かない爽やかな甘みが特徴的です。この時期では日本で一番美味しいと思います。

一早く味わいたいです♪

7月上旬から9月頃まで生産しています。今が時季ですので、ぜひ召し上がってくださいね！

一そのまま食べる以外にも美味しい食べ方はありますか？

我が家では、冷凍したメロンをミキサーにかけてシェイク風にしています。暑い夏にもぴったりですよ。一市民の皆さんにメッセージをお願いします。

まずは一度食べてみてください！

特に若い世代の方には、飛驒のいいものをぜひ知ってほしいです！

暑い夏、爽やかに

市長室へ

ようこそ

●市民と市長の面談日

7月19日(月) 9:00~11:45

*事前にご予約ください

*新型コロナウイルス感染症の状況によっては中止する場合がありますのでご了承ください。

市長室直通FAXもご利用ください FAX●36-2060

問合 秘書課 ☎35-3130



義援金の募金箱を設置しています

市では、被災された方を支援するために、インフォメーション(本庁1階)と各支所地域振興課に義援金箱を設置しています。

集まった義援金は、日本赤十字社岐阜県支部を通じて被災された方々に届けられます。

義援金名称	募金箱設置期間
令和2年7月豪雨災害義援金(九州地方へ)	令和4年3月31日(木)まで

問合 日本赤十字社高山市地区事務局(福祉課内) ☎35-3356

【募集中!】ふるさと納税返礼品の提供事業者

ふるさと納税の返礼品を提供する事業者を募集しています。

- ◆条件◆
 - ・市内に店舗や工場があり、インターネット環境があること
 - ・市内で生産・製造・加工、サービスの提供がされているもの
- ◆参考◆
 - 令和2年度は、22,931件、834,463,000円の寄附がありました。

問合 (株)ヒダカラ(ふるさと納税受託事業者) ☎54-1810

6月1日現在の人口

総人口	85,964人	(-57)
男	41,121人	(-42)
女	44,843人	(-15)
世帯数	35,916世帯	(+15)

()内は前月比

編集・発行/高山市企画部広報公聴課

〒506-8555 岐阜県高山市花岡町2丁目18番地

TEL/0577-32-3333(代)

FAX/0577-32-7000(市長室直通)

FAX/0577-35-3174(広報公聴課直通)

E-mail/kouhou@city.takayama.lg.jp

HP/https://www.city.takayama.lg.jp/

携帯用HP/http://mobile.city.takayama.lg.jp/

防災行政無線の内容は電話でも確認できます

☎0180-995-690